

公衆歯科衛生(含歯科衛生統計)

講師	田浦 勝彦	実施時期 単位数	第2学年前期 3単位 (45時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	地域集団に対する疾病の予防能力を高める態度を養うために、健康に関わる地域の役割に関する基本的知識を習得する。				
授業概要	公衆歯科衛生・統計情報の概要を学習することにより、公衆歯科衛生活動の基礎的な知識について理解する。特に歯科衛生士に期待されている地域における予防活動について理解を深める。				
学習方法	講義と演習				
成績評価の方法	定期試験(80%)と中間試験(20%)による総合評価				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監):最新歯科衛生士教本,歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1「保健生態学」医歯薬出版 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3「保健情報統計学」医歯薬出版 NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会(編):日本におけるフッ化物製剤(第10版) 口腔保健協会				
履修上の注意	近年、歯科衛生士の業務は歯科診療所のみならず地域社会での貢献が求められている。地域住民の歯科保健の確立を支援するために本科目の履修に励んでほしい。				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	1974年から2012年まで東北大学歯学部予防歯科で公衆歯科衛生に係る教育研究に従事し、学生講義を担当してきた。2015年から非常勤講師として歯科衛生士学校において公衆歯科衛生と歯科衛生統計の講義を担当してきた。経験を活かして講義する。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1 2	公衆歯科衛生	1) 公衆歯科衛生と保健情報統計に関する概要を理解できる。 2) 質問紙による現状の知識や口腔状況を把握する。
3 4	保健情報一総論	1) データと情報の違いを説明できる。 2) 情報の性質を理解できる。 3) 母集団と標本を説明できる。 4) 標本抽出法を説明できる。 5) EBM(evidence-based medicine)を理解できる。
5	疫学(1)	1) 疫学の目的を理解できる 2) 因果関係を説明できる。 3) 交絡因子が結果に大きな影響を与えることを知る。
6	疫学(2)	1) 疫学の調査方法を分類し、説明できる。 2) 疫学の研究方法を分類し、説明できる。 3) スクリーニング検査の信頼性の指標を説明できる。
7	情報保護と倫理	1) 個人情報の扱い(個人情報保護)を説明できる。 2) インターネットと情報モラルを概説できる。 3) 国家保健統計(歯科疾患実態調査等)を説明できる。
8	統計分析の方法(1)	1) データのもつ特徴を説明できる。 2) 数値に応じた代表値や散布度を選択できる。 3) 図表の種類と特徴を列挙できる。
9	統計分析の方法(2)	1) 検定の流れを説明できる。 2) 標本平均値の差の検定を説明できる。 3) カイ二乗検定を説明できる。
10 11	歯科疾患の疫学	1) う蝕の疫学的特性を概説できる。 2) 歯周疾患の疫学的特性を概説できる。 3) その他の歯科疾患の疫学的特性を概説できる。 4) 指標と指数を説明できる。
12 13	歯科疾患の指数	1) う蝕の指数を説明できる。 2) 自らの歯の状況を把握できる。
14 15	歯科疾患の指数	1) 歯周疾患の指数を説明できる。 2) 歯周疾患の危険因子について説明できる。
16 17	歯科疾患の指数	1) 口腔清掃状態の指数を説明できる。 2) 不正咬合と歯列不正の指数を説明できる。 3) 歯のフッ素症指数を説明できる。
18 19	母子歯科保健	1) 妊産婦への歯科保健指導の要点を説明できる 2) 妊産婦期と乳幼児期の口腔保健管理を説明できる。 3) 1歳6か月児・3歳児歯科健康診査の結果からう蝕罹患型を分類できる。
20 21	学校歯科保健	1) 学校において被患率の高い疾病異常を列挙できる。 2) 学校保健の保健教育と保健管理を概説できる。 3) 学校歯科健康診断の記号を列挙し、基準を説明できる。 4) 学校保健活動における歯科衛生士の役割を説明できる。
22	産業歯科保健	1) 事業者は、安全衛生管理体制の整備をはかることが、労働安全衛生法によって義務付けられていることを知る。 2) 職場での歯科保健を説明できる。3) 口腔領域に関連のある職業性疾患と、それに対する特殊健康診断を説明できる。
	成人・高齢者歯科保健 災害時歯科保健	1) 成人期の口腔保健管理について説明できる。 2) 高齢者の保健対策を説明できる。 3) 大規模災害時の保健医療対策を概説できる。 4) 被災地での歯科保健活動を概説できる。
23	精神・国際 歯科保健	1) 精神障害者の歯科保健の問題を理解できる。 2) 開発途上国に対するWHOやJICAの活動を概説できる。 3) 世界の歯科疾患の状況を理解できる。 4) 開発途上国の口腔保健戦略について理解できる。
	地域歯科保健 一まとめ	1) 地域歯科保健の基本的な進め方を理解できる。 2) 地域歯科保健に関連する健康づくり対策や保健福祉関連施策の現状について理解できる。